

2010年2月25日

建材(屋根用防水シート)一体型太陽電池「ジオアシートPV」の発売開始について

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「当社」)は、4月から建材(屋根用防水シート)一体型太陽電池「ジオアシートPV」の発売を開始いたします。

「ジオアシートPV」の機能と特長——「建物防水機能+太陽電池」・「軽量+フレキシブル」

当社が開発した「ジオアシートPV」は、アモルファスシリコン型薄膜太陽電池と樹脂製の屋根用防水シートを一体化したもので、建物の屋根などの防水改修工事に併せて、太陽電池を設置することができます。

約3kg/m²と軽量なため、建物の大掛かりな構造補強工事なしに広い屋根へ設置することが可能で、かつ、形状がフレキシブルなので、曲面・凹凸など複雑な形状を持つ屋根へも自在に設置することができます。

(※ 添付【製品写真】【施工イメージ図】をご参照ください)

改正省エネ法の施工で、既存建物への太陽電池設置はいっそう盛んに——「ジオアシートPV」への期待

2010年4月には改正省エネ法^(*)が施工され、企業に課せられる省エネ義務が強化されます。具体的には、企業全体の年間エネルギー消費量が原油換算で1,500klを超える場合、その企業は「特定事業者」の指定を受け、企業単位で中長期的に年1%以上のエネルギー消費量削減努力が義務づけられることとなります。また、コンビニエンスストアなどのフランチャイズチェーンも新たに規制の対象となります。

このため、本社・支店・営業所・工場・店舗・倉庫など、企業のあらゆる拠点で省エネ化対策が進むものと予想されていますが、既存の建物を引き続き使用しながら、しかも大掛かりな構造補強工事を行わずに太陽電池を設置できる「ジオアシートPV」は、省エネへの大きな武器となります。

「ジオアシートPV」のディーラー網——建物防水工事や建物メンテナンス・リフォームの専門業の皆様

これまで、太陽電池の設置工事は、大手住宅メーカーや大手電機メーカーが行うのが一般的でした。これに加えて当社は、全国各地の物件に対応するため、建物防水工事や建物メンテナンス・リフォーム専門業の皆様をディーラー網として組織いたしました。既存の建物の防水改修工事と太陽電池設置を一行に行える「ジオアシートPV」を広く普及させるべく、きめ細かな販売を展開してまいります。

「アルポリック[®]一体型太陽電池」も開発——垂直面である建物の外壁にも太陽電池が設置可能に

さらに当社は、三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区、社長:吉田 宏、以下「三菱樹脂」)と共同で、アモルファスシリコン型薄膜太陽電池とアルミ樹脂複合板「アルポリック[®]」を一体化した製品も開発中です。

三菱樹脂が製造・販売しているアルミ樹脂複合板「アルポリック[®]」は、ポリエチレン(芯材)の両面にアルミニウム板を貼り合わせて一体化した3層構造の複合板で、軽量かつ剛性・加工性・表面平滑性(意匠性)に優れた建築資材として、世界約130カ国・累計面積800~1,000万m²にわたる使用実績があります。

この「アルポリック[®]」に太陽電池を一体化することで、垂直面である建物の外壁にも形状自在に太陽電池を設置できるようになり、「ジオアシートPV」と併用すれば、建物全面の太陽電池化も可能となります。

現在、「アルポリック[®]一体型太陽電池」は耐久性などを確認中ですが、近日中に当社ならびに三菱樹脂の両販売ルートにて発売開始予定です。

(※ 「アルポリック[®]」は三菱樹脂株式会社の登録商標です)

国際太陽電池展「PV EXPO」において「ジオアシートPV」「アルポリック[®]一体型太陽電池」を展示

なお、3月3日から5日、東京ビッグサイトで開催される「PV EXPO~第3回国際太陽電池展」の当社ブースにおいて、「ジオアシートPV」ならびに「アルポリック[®]一体型太陽電池」の現物を展示いたします。

以上

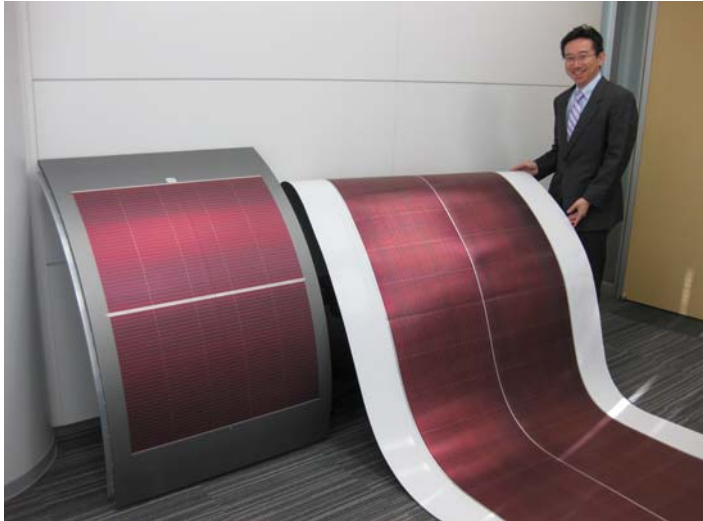
【用語解説】

改正省エネ法^(*)

1979年制定の省エネ法(「エネルギーの使用の合理化に関する法律」)を改正する法律(「エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律」)のこと。2008年5月制定、2010年4月施行。

(※ ご参考: 経済産業省資源エネルギー庁関連サイト <http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/080801.htm>)

【製品写真】



(左側:「アルポリック[®]一体型太陽電池」、右側:「ジオアシートPV」)

【施工イメージ図】



【本件に関するお問合せ先】

三菱化学(株)広報・IR室

Tel: 03-6414-3730